

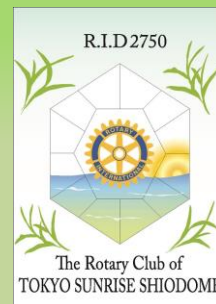


Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

## ◆ WEEKLY REPORT ◆

R.I.D.2750 Chiyoda & Pacific  
Basin Group  
The Rotary Club of  
TOKYO SUNRISE SHIODOME



2015-16年度 会長 梅澤武男  
クラブテーマ「奉仕を实践しロータリーを楽しもう」

◆ 第 2750 地区ガバナー：水野 功 地区テーマ「未来に向けてロータリーの心と原点を大切に」

No.74.26 May. 2016 発行

### 第70回 例会

【日時】2016年5月19日(木) 12:30~13:30 【例会場】ロイヤルパークホテル ザ 汐留  
【例会出席】会員数：21名 / 名誉会員1名 【出席者】 13名 ビジター1名 ゲスト1名  
【出席率】61.9%  
【ニコニコBOX】¥ 14,000— ≪今年度累計≫ ¥ 632,698—

#### ≪プログラム≫

##### ◇ 開会点鐘

##### ◇ 斉唱：「奉仕の理想」

##### ◇ 会長挨拶

今日は素晴らしい天気の中、お集まりいただきありがとうございます。久しぶりに3つのテーブルなので、嬉しく思います。本日は卓話講師として鬼丸昌也様、ビジターとして宇都宮さつきRCの齊藤昇吾様が来て下さいました。楽しんでいて下さい。よろしく申し上げます。

##### ◇ 会長報告

昨日チームサンライズのミーティングを行いました。6/5のレッドブルエアレースはまだ空席がありますので、参加希望の方はご連絡お待ちしております。

##### ◇ 幹事報告

1. 2016-17年度地区補助金(DG)申請が締切となりました。当クラブの申請分は無事承認されました。
2. 6/1よりクールビズを開始します。
3. インドネシアメンテンRCから提案のあった新規プロジェクトは一旦取下げとなりました。

##### ◇ 出席報告

本日は出席が多く3テーブルなので嬉しいです。引き続きよろしく申し上げます。

##### ◇ ニコニコボックス発表(敬称略)

梅澤武男：鬼丸様本日は卓話よろしく申し上げます。宇都宮さつきRC齊藤様ようこそおいで下さいました。  
湯川愛里：昨日、勤務先の創立50周年祝賀会が無事にとりおこなわれました。反省会、2次会、3次会と深夜まで続き、久しぶりに二日酔い状態です…。  
熊谷行裕：先週仕事でトルコのアンカラに出張でしたが、テロには合わずなんとか無事帰りました。明日は愛知さんのコンサートなので、皆さんふるってご参加ください。  
山本教夫：いいお天気で暑いくらいになってきました。鬼丸さん、本日の卓話とっても楽しみにしておりました。よろしく願いいたします。齊藤さん、ようこそおこし下さいました。楽しんでいて下さい。  
立堀佳男：鬼丸さん、齊藤さんようこそいらっしゃいました。また、昨日はチームサンライズの打ち合わせを行いました。カジキのすごさに若干あせっています。  
齊藤昇吾様：鬼丸昌也様、テラ・ルネッサンス正会員として本日の卓話を楽しみにしております。

◆ 会長：梅澤武男 ◆ 幹事：湯川愛里 ◆ 副会長：愛知とし子【発行責任者】梅澤武男

【創立】2014年10月15日 【例会日】毎週木曜日 12:30~13:30 【例会場】ロイヤルパークホテルザ汐留  
〒160-0022 東京都新宿区新宿 7-27-45 鈴木ビル 402 / TEL:03-6273-9030 / FAX:03-6413-1775  
【URL】<http://suns-rc.org/> 【E-mail】[office@suns-rc.org](mailto:office@suns-rc.org)

◇ ビジター挨拶

齊藤昇吾様（宇都宮さつきRC）

宇都宮さつきRCもこちらと同じくらい例会を開催しております。本日は楽しみにして参りました。よろしくお願い致します。

◇ 卓話

鬼丸昌也様（NPO法人テラ・ルネッサンス理事）

「こうして僕の世界を変えるために一步を踏み出した」

本日は、NPO法人テラ・ルネッサンスが行っているウガンダの子ども兵支援と、東日本大震災後の支援についてお話させていただきます。

ウガンダでは約23年間国内での抗争があり、実際に戦争が行われていた場所はウガンダ北部でした。私たちは2004年よりウガンダ北部で子ども兵復帰支援活動を行っています。実際に訪問した時には勿論戦争は治まっていたのですが、避難勧告地域のため旅行保険も特別なものでなくてはならず、準備から非常に大変でした。戦争していた23年の間にウガンダ国内で何人の子ども達が兵士になっていったのかは正確に把握させていないので定かではありませんが、少なくとも万単位だった事は確かです。私たちはその元子ども兵を支援するためにウガンダへ行きました。子ども兵の多くは、軍に誘拐され、兵士として訓練を受けさせられ、兵士である大人の中での生活を強いられます。人間誰しも人に認められたいという承認欲求があり、一般には親や友人に認められたいというものですが、子ども兵である子達は、親や友人が居ません。その為より優れた兵士になるべく訓練に励み周りの大人たちに認められるよう努力します。素直な子どもは特に優れた兵士になりやすいです。ウガンダへ行った際に出会った1人の少年は、自分の故郷を襲撃し、自分の母を傷付けるよう命令を受けたそうです。出来ないなら2人とも命はない、と言われました。結果的にその少年も母親も命は助かったのですが、「もう以前のように母親が自分を愛してくれる事はない」と少年は言っていました。子ども兵は、それだけの事をさせられ、トラウマを抱えてしまう為、社会に復帰した時に普通に生活をする事は困難です。私たちはその手助け(復帰支援)をウガンダで行っています。1人の子に対し平均で3年の時間をかけて教育等の支援を行っていますが、これまでの取組で支援する前に比べ、収入が格段に増え、周囲との関係性も大きく改善したという結果が出ています。自ら働き生活をする事で自尊心が向上し、過去のトラウマと向き合い、自分自身を受け入れられるように変化出来るのだと考えています。

もう1点、東日本大震災を機に行っている「大槌復興刺し子プロジェクト」は、岩手県沿岸南部の小さな町、大槌町の避難所で立ち上げた取組みです。震災後の避難所で出会った女性たちは口々に「何もしないと地震の事を考えてしまう。何かしたい」と言っていました。そこで考えたのが、限られたスペースと道具で行う刺し子の制作です。5年間で150名以上の女性に協力頂き、約2,700万円を還元する事が出来ています。震災直後、テラ・ルネッサンスとして経験のない日本国内での支援を行うべきかどうか非常に悩んでいた時、ウガンダから1本の電話があり、「日本を支援したいので募金を集めている。日本にいるあなた達は何をしますのですか」と問われ、支援するという決心が出来ました。様々な支援を行っている中で感じるのは、支援者の支援は当然ながら、受け入れてくれる地域の活性化も考える事が大切という事です。又、問題解決の為に試行錯誤するその過程が非常に重要という考えの下、今後も活動を続けていきます。

◇ 講評

梅澤武男会長

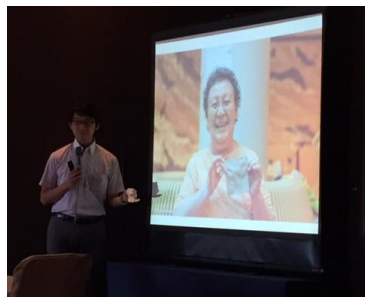
鬼丸様、支援の基本について改めて考えさせられる内容でした。現地に実際に行く勇気とその大切さを学ばせていただきました。本日はありがとうございました。

◇ 閉会の点鐘

梅澤武男会長



例会の様子



卓話（鬼丸昌也様）



鬼丸様、梅澤会長、山本会員、齊藤様

《今後の主な行事予定》

◇ 5月29日～6月1日 国際大会（ソウル）

《今後の例会スケジュール》

- ◇ 5月26日 18:30 ~ 20:30(夜間)
- ◇ 6月2日 休会 (移動例会による振替)
- ◇ 6月9日 12:30 ~ 13:30